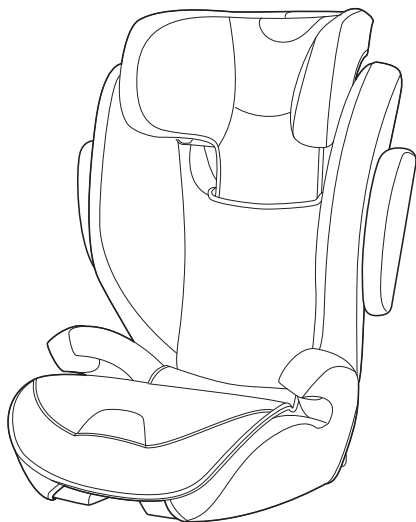


Joie™
signature

i-Traver™ signature

アイトレバー



ECE R129/03 : B2
ECE R129/03 : i-Size

210501

取扱説明書／保証書

ECE R129/03適合
適応身長：100-150cm



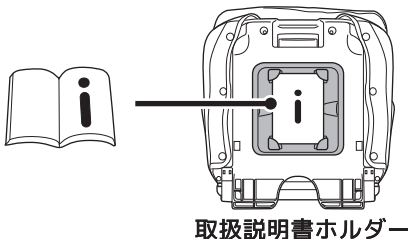
Welcome to Joie™

この度は、ジョイー シグネイチャーシリーズ製品をお求めいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、自動車の座席で使用するブースターシートです。

本製品は、ECE R129/03 基準に適合するチャイルドシート製品ですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、ブースターシート底面の取扱説明書ホルダーに大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。



もくじ

はじめにお読みください	4
ユーザー登録のお願い	4
正しい使用	4
ブースターシートについて	5
使用に関するアドバイス	5
適合する自動車の座席について	5
本製品の情報	6
緊急時の対応	6
表記の説明	7
内容物の確認	8
各部の名称	9
使用できるお子さまの条件	10
自動車の座席に関して	12
使用可能な座席の位置と向き	12
シートベルトの使用	13
使用できない座席	13
使用上の注意事項	15
組み立て・準備	25
本体の組み立て	25
サイドインパクトシールド	28
使いかた	30
ヘッドレストの調節	30
シートアジャスト	31
自動車の座席への設置	32
ISOFIX による固定	32
3 点式シートベルトのみを利用する	39
シート背もたれのリクライニングの調節	40
お子さまの乗せかた	42
お手入れのしかた	50
ベースのカバーの取り外し	51
ヘッドレストのカバーの取り外し	54
バックレストのカバーの取り外し	56
カバーの取り付け	57
カバーのお手入れ	57
ベース・バックレスト・ヘッドレストのお手入れ	59
除菌・抗ウイルス製品の使用にあたっての注意	61
保管のしかた	61
廃棄のしかた	61
保証書	

はじめにお読みください

本製品は、ECE R129/03 基準に適合する、ユニバーサル・ブースター（i-Size ブースターシート）です。

身長 100cm ～ 150cm^{*}（目安年齢 3.5 歳頃から 12 歳頃）のお子さまに使用することができます。

本製品は、自動車の ISOFIX 固定装置に ISOFIX コネクターを用いて固定することにより、お子さまが乗車していない場合でも、ブースターが車内で移動することを防ぎます。

お子さまを本製品に寄せ、自動車の 3 点式シートベルトを装着して使用します。

ユーザー登録のお願い

チャイルドシート（ブースターシート）をご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたします。本製品は、日本国内で使用を認められているチャイルドシート基準である ECE 基準に適合しています。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適さない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いしています。

お預かりしたお客様の個人情報、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的以外には利用いたしません。

正しい使用

本製品が、所定の安全性能を発揮するように、本書および本体の表記の指示に従って、正しく自動車の座席に取り付けて、正しい方法で使用してください。

ブースターシートについて

本製品は、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としているものであり、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、本製品を正しく使用しないと、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになるお車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

使用に関するアドバイス

お子さまのブースターシートの使用を習慣付けるようにしてください。

また、大人の方も必ずシートベルトを着用するようにしてください。

長距離を走る場合、最低でも1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。

本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。

事故時や、緊急事態には、お子さまを直ちに応急処置し、医療機関にご相談ください。

適合する自動車の座席について

本製品は、ほとんどの自動車の座席で使うことができますが、すべての自動車、座席において使用できるとは限りません。

本書および自動車の取扱説明書を参照の上、確認してください。

以下のホームページに記載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

なお、適合車種一覧は適宜更新しています。

カトージ ホームページ

katoji.co.jp

本製品の情報

本製品は、身長 100cm-150cm のお子さまが使用する、ノン・インテグラル・ユニバーサル・エンハンスド・チャイルドレstraintシステム (i-Size ブースターシート) です。

本製品は、最新の UN 規則 R129/03 によって認証された製品です。

- ・ 本製品は、本製品を自動車の座席の ISOFIX 固定装置を利用して固定し、お子さまに 3 点式シートベルトを装着して使用することができます。
 - ・ ISOFIX 固定装置が装備されていない座席の場合でも、3 点式シートベルトのみで使用することができます。
- いずれで使用する場合においても、一定の条件によって使用の可否が定められており、すべての座席で使用可能なものではありません。
-

製品の区分	: ブースターシート
原材料	: プラスチック / 金属 / 縫製品
パテント No.	: 特許出願中
適応身長	: 身長 100cm-150cm [※] (参考年齢: 3.5 歳頃 ~ 12 歳頃)
取り付けの向き	: 自動車の進行方向に対して前向きに取り付けて使用 ※お子さまの身長が 135cm 以上の場合、車種、座席の位置(条件)によっては本製品を適切に使用できなくなる場合があります。

緊急時の対応

交通事故などの緊急時には、あわてず自動車のバックルを操作して、シートベルトを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させて、直ちにお子さまの応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。

お子さまの脱出の際に、シートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。衝撃の影響などによってバックルが外れない場合は、市販のシートベルトカッターなどを使用してシートベルトを切断し、お子さまを車外に脱出させてください。

表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しています。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。

危険・警告・注意の表記について

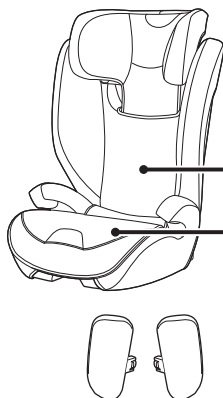
表記	表記の内容
 危険	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 警告	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 注意	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

強調・禁止の表記について

表記	表記の内容
	この表示に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表示に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

内容物の確認

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



本体

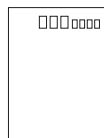
ISOFIX ガイド × 2



シートバック

※ご使用前にベースとシートバックの組み立てが必要です。

ベース



サイドインパクトシールド※

※P28「サイドインパクトシールド」を参照して本体に取り付けてください。

本書

ユーザー登録はがき

⚠ 警告

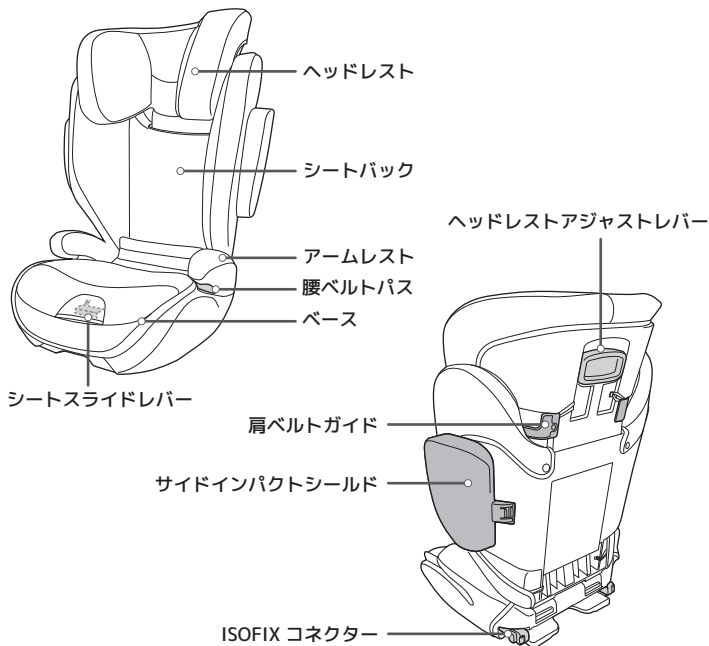
窒息のおそれがあります

お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を梱包しているビニール袋類は開梱後、直ちに破るなどした上で、お子さまの手の届かないところに廃棄してください。

各部の名称

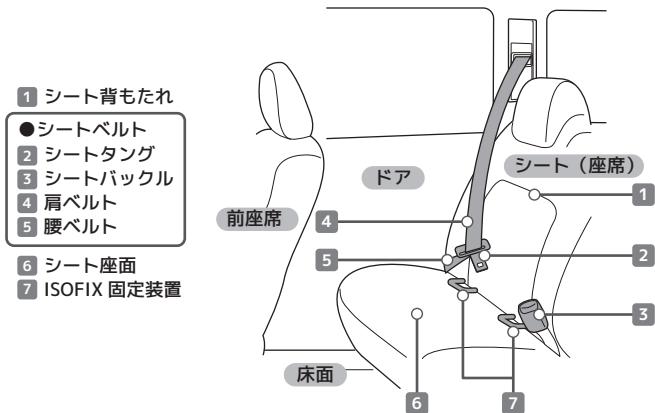
本製品の各部の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。



自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。



👉 ポイント!

お車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、お車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

使用できるお子さまの条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準によって定められています。

本製品は、ECE R129/03 基準に適合した i-Size ブースターシート（身長 135cm まで）であり、身長 100cm から 150cm のお子さまにご使用いただけます。

この範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

👉 ポイント!

お子さまの身長が 135cm 以上の場合、座席の位置（条件）によっては本製品を適切に使用できなくなる場合があります。

⚠危険

条件に当てはまらない場合は使用しないこと

本製品の適合する ECE R129/03 基準は、使用可能な期間をお子さまの身長によって規定しています。目安となる年齢が使用可能な範囲であっても、身長が使用できる条件に満たない、またはこれを超える場合には、本製品を使用してはいけません。

身長	使用方法	
100cmから150cmまで (3.5歳～12歳頃まで)		ベースとシートバックを組み立てて使用します。 本製品のヘッドレストでシートベルトの位置（高さ）を調節します。

⚠危険

ベースとヘッドレスト、シートバックを分離して使用しないこと

本製品は、ベースにヘッドレストとシートバックを組み立てた状態でのみ使用することができます。ベースのみ、ヘッドレストのみ、シートバックのみの状態で使用してはいけません。

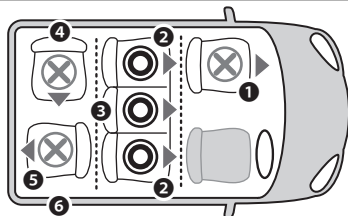
⚠注意

身長 135cm 以上のお子さまにはご注意ください

一部の車種、座席の条件によっては、お子さまの身長が 135cm を超えた場合、本製品の使用ができなくなる場合があります。

自動車の座席に関して

使用可能な座席の位置と向き



- ① 助手席 × 使用不可※ 1
- ② 2 列目左右ドア側席 ○ 使用可能※ 2
- ③ 2 列目中央席 ○ 使用可能※ 3
- ④ 進行方向に向かって横向きの座席 × 使用不可
- ⑤ 進行方向に向かって後ろ向きの座席 × 使用不可
- ⑥ 3 列目以降の左右中央座席 ○ 使用可能※ 4

※ 1：使用できません。より安全な後部座席での使用をお勧めします

※ 2：ISOFIX 固定装置が装備されている場合は本製品を固定してください

※ 3：ほとんどの車種において ISOFIX 固定装置が装備されていませんが、正しく装着できる場合は使用することができます。ただし、当社適合車種一覧においては適合調査をいたしていません。

※ 4：ほとんどの車種において ISOFIX 固定装置が装備されていませんが、正しく装着できる場合は使用することができます。ただし、当社適合車種一覧においては適合調査をいたしていません。

自動車の取扱説明書において i-Size 対応と指定されている座席では、原則として使用が可能です。が、諸条件により使用を推奨しない場合があります。また i-Size 対応でない座席でも使用することができる場合があります。

本製品が使用できる車種、座席の情報に関しては、適合車種一覧で確認していただけます。

カトージ ホームページ

katoji.co.jp

⚠危険

使用の可否の条件を守ること

上記のシート（座席）すべてで使用可能とは限りません。

上記は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きであり、かつその他の条件を満たした座席でのみ使用可能です。

シートベルトの使用

本製品は、自動車の3点式シートベルトをお子さまに装着して使用します。2点式シートベルトや5点式シートベルトの座席、シートベルトが装備されていない座席では使用することができません。

使用できない座席

本製品は、すべての自動車、すべてのシート（座席）で使用できるものではありません。本製品を取り付け、使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

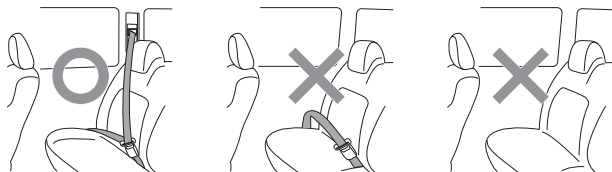
⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

3点式シートベルト以外の座席

本製品は、自動車の3点式シートベルトをお子さまに装着して使用します。シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2点式シートベルトや4点式、5点式シートベルトでは使用できません。

本製品は3点式シートベルトが装備された座席で使用してください。



助手席

より安全な後部座席に取り付けしてください。

⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

適合車種一覧で取り付け、使用不可となっている車種または座席

本製品の適合車種一覧で、取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席（車種が適合していても、すべての座席で取り付け、使用可能とは限りません）では使用できません。

本製品を安定して設置できない座席

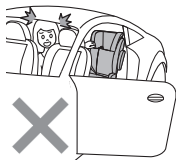
極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、極端に傾斜した座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席、可動操作に干渉する座席では、本製品が安定しないため取り付けることができません。また、適合車種でも、限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、適合車種一覧での取り付け可否に関わらず、本製品を安定して設置できないこともあります。



乗員の脱出に影響を与える座席

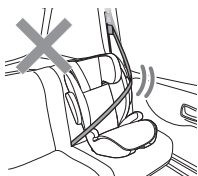
片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。

実際に本製品を使用する前に緊急時を想定して、使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。



パッシブシートベルトが装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用できません。



安定しない座席や、座席やドアに干渉する座席

安定しない座席や、本製品の角度等に異常がある座席、可動式の座席で、動かした際に本製品に干渉する座席、自動車のドアの開閉時に干渉する座席では使用しないでください。

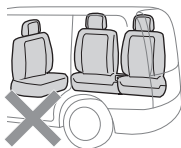
⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

進行方向に対して前向き以外の座席

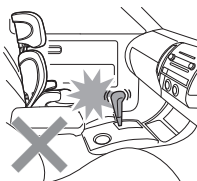
本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席でのみ使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。

また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席では使用しないでください。



本製品を使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

本製品を使用すると、ドアミラーが見えにくくなる、サイドブレーキやシフトレバー、ハンドル、ウインカーなどの操作に影響を与え、自動車の安全な運転に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。本製品は後部座席で取り付け、使用してください。



本製品の取り付け操作中に移動する座席

本製品の取り付け操作中に移動する座席には取り付けないでください。

使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

使用条件を厳守すること

本製品は、適合する基準により、使用できる条件が定められています。本製品の使用可能な期間は、身長 100cm から 150cm までのお子さまが使用することができます。

この使用条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

目安としては、およそ 3.5 歳から 12 歳頃までのお子さまにご使用いただけます。



⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

本製品の取り付け、設置場所に注意すること

取り付け、設置する場所によっては、お子さまが可動式の座席や自動車のドアに挟まれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

正しく使用すること

本製品は、本取扱説明書および本製品本体に記載されている指示、ならびに本製品を使用する自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車の座席に設置して使用してください。本製品を適切に使用しないと、急な方向転換、突然の停止、または転倒の際に思わぬ事故につながるおそれがあります。

取扱説明書および本製品に記載の指示に従うこと

本書の指示にない使いかたはしないでください。本書および製品本体に記載する方法以外での設置、固定、使用はしないでください。

本製品は取扱説明書および自動車の取扱説明書の内容を理解した大人の方が操作すること

本製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか、他の乗員の方にも危険がおよぶおそれがあります。たとえ使用方法を理解していたとしてもお子さまに操作をさせないでください。

取扱説明書は本製品と分離して保管しないこと

第三者に本製品を使用させる場合にも、本書を必ず参照させて本製品を正しく使用できるようにしておくこと。本書は、常に本製品底面の取扱説明書ホルダーに入れて保管してください。

体型が合わない場合は使用しないこと

「使用できるお子さまの条件」の規定の範囲内でも、お子さまが成長し、本製品に正しくお子さまを乗せると自動車のシートベルトを正しく装着できなくなった場合には、所定の安全性能を発揮できませんので、本製品を使用しないでください。



短距離、短時間の移動でも本製品を使用すること

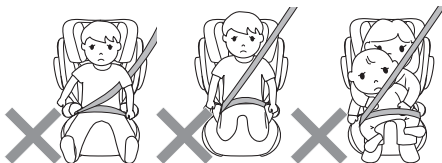
多くの事故は、短距離、短時間の移動の際に発生しています。たとえ短い距離の移動でも、お車を使用する場合は、本製品を正しく使用し、お子さま安全にご配慮ください。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

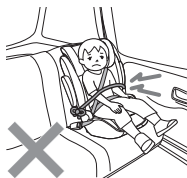
お子さまを正しく座らせて使用すること

本取扱説明書の記載に従い、本製品を正しく調節して、正しくお子さまを座らせて使用してください。シートベルトを間違っ使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



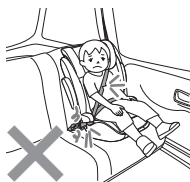
指定する方法以外での使用しないこと

本製品は、適合する車種の3点式シートベルトで使用します。ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなど、シートベルト以外のものを使用してはいけません。また、シートベルトを装着した上に、これらのもので補強してもいけません。シートベルトが正しく使用されていても、これらのものが、お子さまの首や身体に引っかかり、シートベルトに干渉するなどして重大な事故につながるおそれがあります。



シートベルト（シートバックル・シートタング）に損傷がある場合は使用しないこと

交通事故や急制動の際にシートベルトが切断したりシートバックルが外れたりして、重大な事故につながるおそれがあります。



お子さまを車内に放置しないこと

本製品の使用の有無に関わらず、いかなる場合でも、どれだけ短い時間でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、誤って自動車の操作をしたりシートベルトに絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

正しくシートベルトを装着すること、シートベルトをねじらないこと

お子さまが装着するシートベルトにねじれがあると、本製品が安全に機能しません。本製品を正しく調節して、シートベルトにねじれがないことを確認してしっかりと締め付け、バックルを留めて正しく使用してください。



シートベルトはゆるみのないようにすること

シートベルトにゆるみがないようにして本製品をご使用ください。

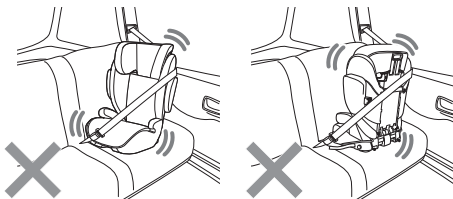
シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通すこと

事故や衝撃を受けた際に、骨盤でしっかりと受け止めるため、シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通すようにしてください。骨盤の上を通っていないと、内臓の損傷や、骨折の危険性が高まります。



前向き以外にして使用しないこと

本製品は、自動車の進行方向に向かって前向きの座席に、前向きにして使用します。横向き、後ろ向きなど、前向き以外の状態にして使用してはいけません。



EPP / EPS フォーム（白い衝撃緩衝材）を取り外さないでください。
本製品の内部に取付けられている EPP / EPS フォームは、本製品の安全性に関わる重要な部品です。絶対に取り外さないでください。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

カバー類を取り外して使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外した状態で使用しないでください。カバー類、ウレタンも安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様に本体に貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。

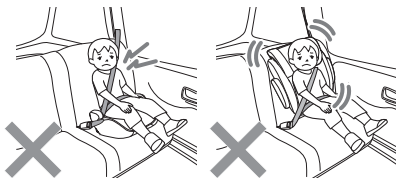
本製品に破損や異常がある場合や部品が欠落している場合、部品を取外した状態では使用しないこと

交通事故や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあり、また本製品の破損部により思わぬ事故につながるおそれがあります。



ベースとシートバックを組み立てずに使用しないこと

本製品は、ベースとシートバックを正しく組み立てることにより安全に機能します。ベースのみ、シートバックのみの状態での使用は、本製品が安全に機能しないばかりか、思わぬ事故につながるおそれがあります。



以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

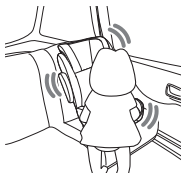
強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだ、など一度でも強い衝撃を受けた場合は絶対に使用してはいけません。また、本製品の部品が欠落したり紛失した場合も使用してはいけません。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能なくなっている可能性があります、保証の対象外となります。このような場合には、新しい製品をご購入いただく必要があります。



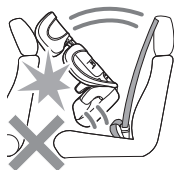
走行前には本製品の状態を確認すること

お子さまや他の乗員などが、本製品に触れたり操作したりするなどして、本製品の状態が変化しているおそれがあります。走行前には、毎回本製品が適正な状態にあるかどうか、必ず確認してください。製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか、他の乗員の方にも危険がおよぶおそれがあります。



使用しない場合でも、車内では本製品を必ず固定しておくこと

お子さまを乗せて使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本製品を動かないようにシートベルトで固定しておいてください。座席に ISOFIX 固定装置がある場合は、本製品の ISOFIX コネクターを用いて固定してください。正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

本製品と座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を置かないこと。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

本製品を正しく使用することにより、自動車の座席にくぼみや傷が生じる可能性があります、あらかじめご了承ください。



⚠警告

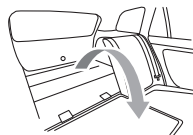
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

走行中は、本製品を操作しないこと

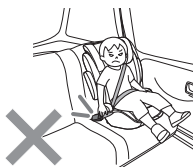
自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。お子さまの状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、お子さまの状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること
自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席/トランクスルー）で本製品を使用する場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



バックルが正しく留まっているか適宜確認すること
お子さまがバックルに触れると、バックルが解離してシートベルトが外れるおそれがあります。お子さまには走行中はバックルに触れないように言い聞かせ、適宜バックルが正しく留まっていることを確認してください。



不適切な着衣で使用しないこと

お子さまを正しく固定できず、お子さまが落下したり、飛び出したりするおそれがあります。ケープや毛布など衣服ではないもの、また、おくるみなど、腕が出ない（シートベルトを正しく装着できない）構造の着衣、サイズの大きすぎる着衣などを着せて本製品を使用しないでください。また、厚みのあるダウンジャケットなど、厚着をしている場合には、お子さまが確実にシートベルトを装着できるよう、本製品を正しく調節してください。また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下にしかしないでください。

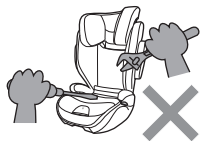


⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

本製品を分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の分解、改造をしてはいけません。また、指定外の部品への交換、他社製の部品や製品を追加して取り付けて使用しないでください。型式承認機関の承認を得ずに、本製品を改造、改善、修繕を行うことはできません。



本書の指示にない荷重支持接点を使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本書、本製品本体で指示されている荷重支持接点以外を使用しないでください。

他社製のアクセサリを追加して使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。チャイルドシート用、ブースター用とされていても、当社指定外のマットや、ソフトクッションなどを本製品に追加して使用しないでください。

過度の負担を掛けないこと

本製品が損傷し、所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、自動車のドアや自動車の座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。本製品に強い衝撃が加わったり損傷したりした場合、本製品を使用してはいけません。



中古品や劣化した本製品を使用しないこと

中古品は、過去の履歴や保管状況、使用状況が不明なため、また劣化した本製品は強度等が劣る可能性があり、本製品が安全に機能しないおそれがあります。使用してはいけません。安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。



目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、ブースターシートとしてのみ使用することができます。椅子やベッド、ベビーキャリーとして使用するなど、ブースターシート以外の目的で使用すると、お子さまが落下するなどして重大な事故につながるおそれがあります。

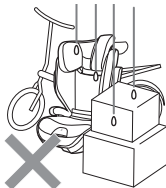


⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはいけません。

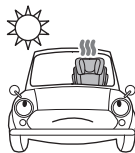


⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、本製品の金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、日陰に駐車したり本製品に覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



車内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、本製品を使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。



長時間連続して使用しないこと

お子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜、お子さまを本製品から降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。

また、運転の安全のためにもなりますので、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

長期間使用しない場合は、本製品を自動車から取り出すこと

車内の環境により、樹脂部品などの劣化が進むおそれがあります。

⚠ 注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に、稼働部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。



販売店、チャイルドシートメーカーに問い合わせください

補修やお手入れ、メンテナンスについて疑問がある場合は、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客サービスにお問い合わせください。

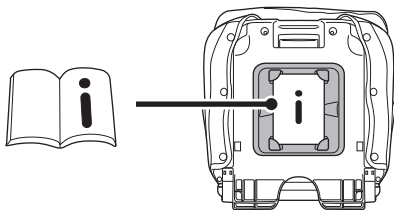
トランクでの保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクに入れて保管する場合、上に他の物を載せないようにしてください。

本書は取扱説明書ホルダーに保管すること

必要なときにいつでも参照できるよう、本書は、本体底面にある取扱説明書ホルダーに保管しておいてください。

取扱説明書ホルダーに上手く収納できない場合は、ベースの座面のカバーの内側に入れておいてください。



取扱説明書ホルダー

組み立て・準備

本製品は、ご使用になる前に組み立てが必要です。工具等は必要ありません。

⚠注意

お子さまを近づけないようにしてください

組み立ては安全に注意して、お子さまを近づけないようにして作業してください。

本体の組み立て

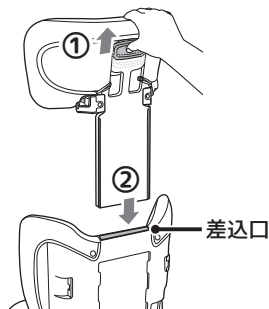
⚠危険

必ず組み立ててから使用すること

ヘッドレスト、シートバック、ベースそれぞれ単体で使用することはできません。必ずヘッドレスト、シートバックとベースを組み立てて使用してください。それぞれ確実に固定するようにしてください。

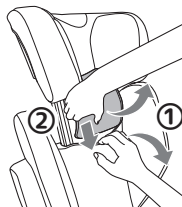
01

①ヘッドレスト後ろ側のヘッドレストアジャストレバーを引き上げながら、②シートバックの差込口にヘッドレストの下部を差し込みます。ここでは最後まで差し込まないでください。



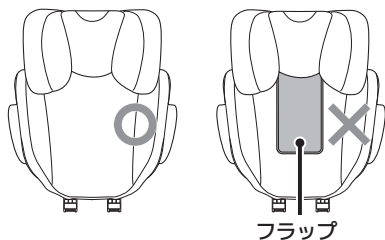
02

①シートバックのシートバック上部をめくり、②ヘッドレストのフラップをシートバックの生地の内側に差し込みます。



03

右図のようにになっていることを確認してください。



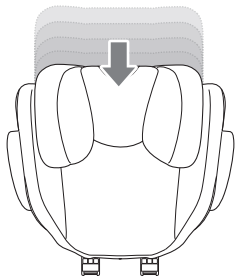
04

ベースにシートバックを取り付けます。平らで安定した場所で作業してください。

05

ヘッドレストが引き出されている場合は、ヘッドレストを下げておきます。

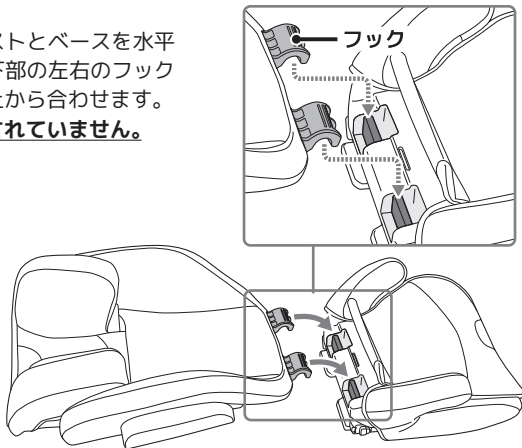
参照 P30 ▶ヘッドレストの調節



06

図のように、バックレストとベースを水平にして、バックレスト下部の左右のフックをベースの固定部に真上から合わせます。

この状態ではまだ固定されていません。

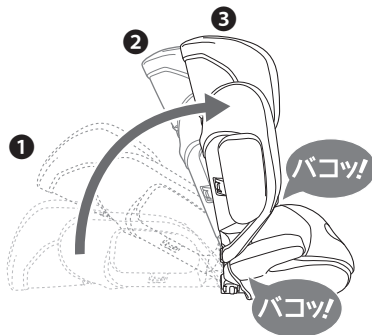


 ポイント!

バックレスト、ベースを水平状態にしてください。

07

そのまま、ベースを手で押さえながらバックレストを立てます。バコッと音がしてバックレストがベースに固定されるまで立ててください。構造上、バックレストは3段階でベースに固定されます。**①の状態では使用できませんので、②または③の状態になるまで立てます。**



 ポイント!

バックレストのフックがベースの固定部から浮いていると固定されません。バックレストを立てる際には、**05 ではめたフック、固定部を中心軸**にして上図のようにバックレストを回転させるようにして立ててください。

自動車のシート背もたれの角度にあわせて、**②**または**③**の角度で使用します。

⚠警告

椅子として使用しないこと、お子さまを座らせないこと

バックレストは、簡易に固定されているだけです。本製品はバックレストを自動車の座席のシート背もたれにあてて使用します。**自動車の座席に正しく設置するまでは、お子さまを座らせてはいけません。**本製品のバックレストにお子さまがもたれかかると、バックレストが後方に倒れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

08

軽くバックレストをゆらして、ベースに確実に固定されていることを確認してください。(強く押すと外れますのでご注意ください)

09

お手入れなどで必要がある場合は、逆の手順でシートバックとベースを分割することができますが、使用する場合は、必ずシートバックとベースは組み立てておいてください。

サイドインパクトシールド

本製品には事故時などの側面からの衝撃を緩和する安全機構のサイドインパクトシールドが装備されています。

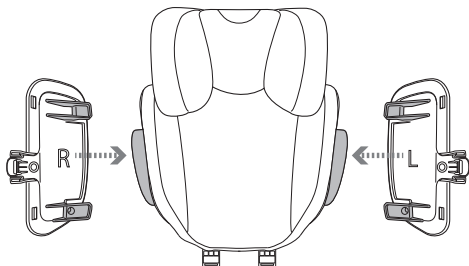
サイドインパクトシールドは取り外すことができます。ドアに干渉したりする場合は、取り外して使用してください。ドアとの空間に余裕がある場合は、取り付けて使用します。

取り付けかた

01

サイドインパクトシールドには、左右があります。サイドインパクトシールドの裏側に「L」「R」の表記があります。

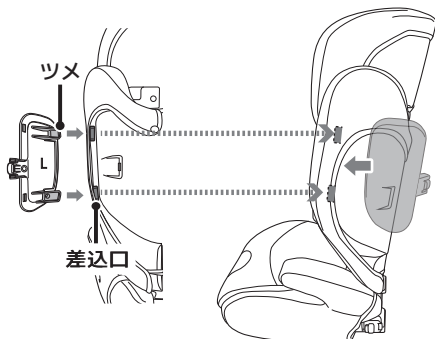
バックレストを後ろから見て左側に「L」の文字がある方を、右側に「R」の文字のある方を取り付けます。



※バックレストを正面から見た状態

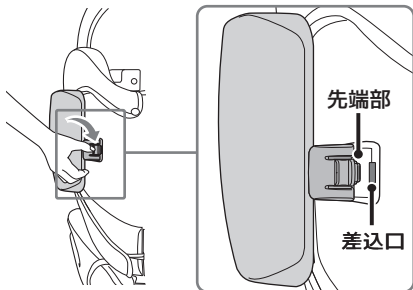
02

サイドインパクトシールド裏側の2カ所のツメを、バックレスト側面の差込口にそれぞれ差し込みます。



03

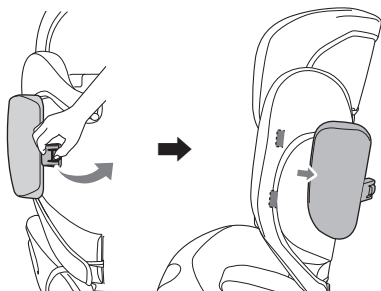
サイドインパクトシールドの先端部を、バックレスト側面の差込口に押し込んで固定します。



取り外しかた

01

取り付けと逆の手順で行います。サイドインパクトシールドの先端部を引き上げて取り外してください。



ポイント!

取り外しは操作が固めです。先端部を引き上げる際は爪を折ったりしないようにご注意ください。

ヘッドレストの調節

本製品では、お子さまの体型や成長に合わせてシートバックのヘッドレストの高さを調節することができます。ヘッドレストの高さ調節によりシートベルト（肩ベルト）の高さをお子さまの成長に合わせて適切に調節します。

⚠危険

ヘッドレストを調節して使用すること

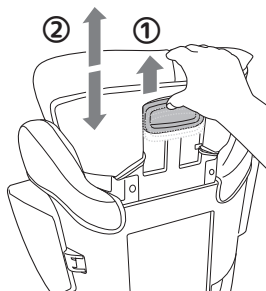
ヘッドレストが適切に調節されていないと、本製品が所定の安全性能を発揮することができません。必ず、お子さまの身長に合わせてヘッドレストを適切な高さに調節してからご使用ください。

参照 P46 ▶お子さまの乗せかた▶ 07~08

01

①ヘッドレスト後ろ側のヘッドレストアジャストレバーを引き上げ、②ヘッドレストを上下に動かします。

ヘッドレストは 10 段階で高さを調節することができます。



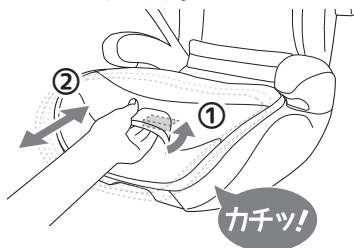
シートアジャスト

本製品では、お子さまの体型や成長に合わせてベースの座面部分を前後に調節することができます。3段階で調節できますので、お子さまの体型に合わせて調節してください。

01

ベースの座面の前側の切り口に手を差し入れて、①シートスライドレバーを引き上げながら、②前後に座面を動かして、シートスライドレバーから手を離すとカチッと音がして座面が固定されます。

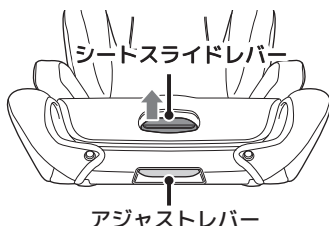
前後3段階で調節することができます。



👉ポイント!

狭い場所に手を入れて操作します。爪を折ったりしないようにご注意ください。

シートスライドレバーとアジャストレバーは上下に並んでいます。アジャストレバーと間違わないように操作してください。



※図は、シート上面のカバーを外した状態です

自動車の座席への設置



危険

使用の可否の条件を守ること

本製品は、すべての車種、座席で使用可能とは限りません。本製品の使用に適さない座席で使用すると大変に危険です。「自動車の座席に関して」の項を改めてご確認ください、正しくお使いください。

参照 P12 ▶自動車の座席に関して

ISOFIX による固定

ポイント！

この項の操作は、ISOFIX 固定装置に本製品を固定して使用する場合のみ必要な操作です。3 点式シートベルトのみを使用する場合にはこの操作は必要ありません。

ISOFIX 固定装置が装備された座席では、ISOFIX による固定をしてください。より安全に安定して本製品を座席に固定することができ、かつお子さまが乗っていない場合でも本製品が座席に固定されていますので、自動車の動きによって本製品が移動することがないので、お子さまの乗り降りの都度、本製品を座席に寄せたり、取り外す必要がありません。

ISOFIX 固定装置を装備した座席では、自動車の座席のシート背もたれとシート座面の境目部分に ISOFIX 固定装置が設置されています。正確な位置、使用条件については、自動車の取扱説明書の記載内容をご確認ください。



危険

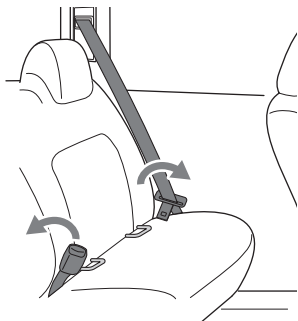
3 点式シートベルトをかならず使用すること

ISOFIX による固定の場合においても、お子さまは 3 点式シートベルトを装着する必要があります。お子さまには、本製品を正しく調節した上で 3 点式シートベルトを装着させてください。

取り付けかた

01

本製品を取り付けるシートの子シートベルトは、留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートタングやシートバックル、その他のものの上に本製品を乗せないようにしてください。



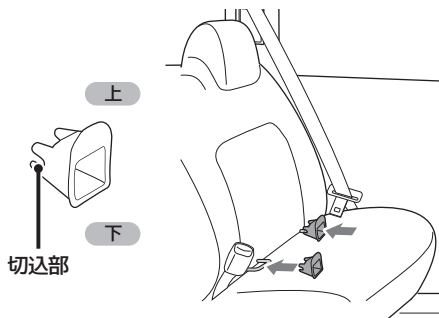
👉ポイント!

ISOFIX 固定装置は、座面と背もたれの間の奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げると、ISOFIX 固定装置が見えますので、その状態で ISOFIX ガイドを差し込んでください。また、車種によっては、ISOFIX 固定装置にカバーが掛けられている場合がありますので、お車の取扱説明書をご確認ください。

02

ISOFIX ガイドを、座席の ISOFIX 固定装置に差し込みます。

ISOFIX ガイドには左右はありませんが、上下がありますので上下を間違わないように注意して、切込部を ISOFIX 固定装置に差し込むようにして取り付けてください。

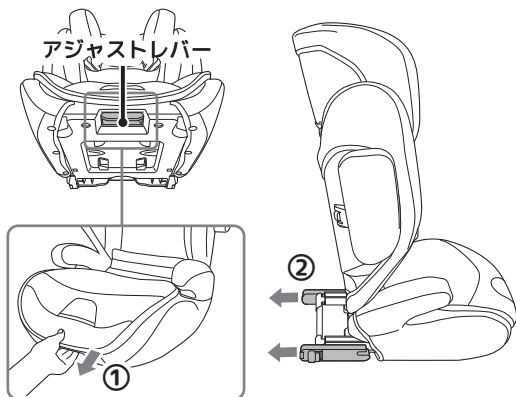


👉ポイント!

車種によっては、ISOFIX ガイドに類するカバーが取り付けられているなど、ISOFIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISOFIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできますが、ISO 固定装置の周囲の座席の生地に傷がつく場合があります。あらかじめご了承ください。

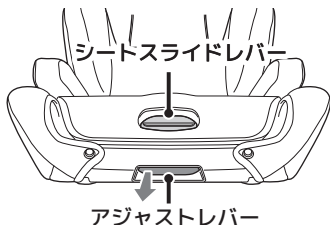
03

ベースの前端底部の①アジャストレバーを手前に引いて、②ベース後部の ISOFIX コネクターを引き出します。



ポイント!

アジャストレバーとシートスライドレバーは上下に並んでいます。



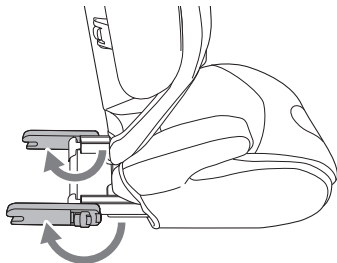
※図は、シート上面のカバーを外した状態です

04

ISOFIX コネクターを 180 度回転させます。

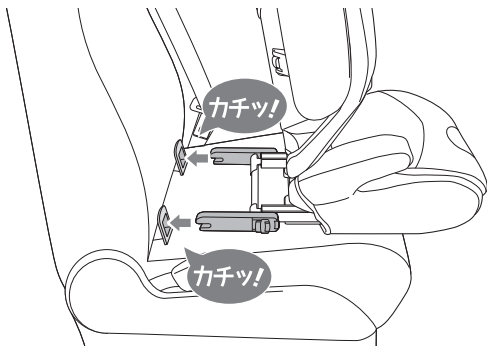
ポイント!

ISOFIX コネクターは、回転した状態で固定はされません。



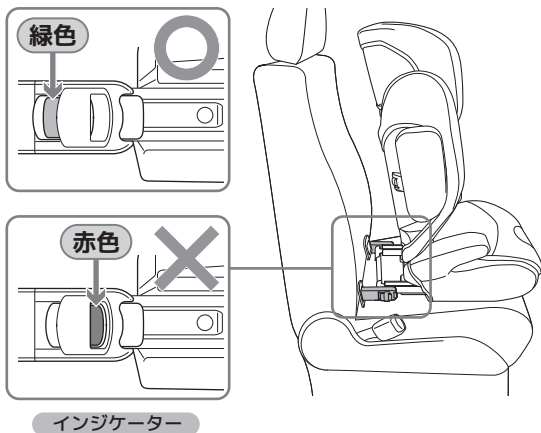
05

本製品をシート座面に乗せ、左右の ISOFIX コネクターを、それぞれカチッと音がして ISOFIX 固定装置に固定されるまで ISOFIX ガイドに差し込みます。



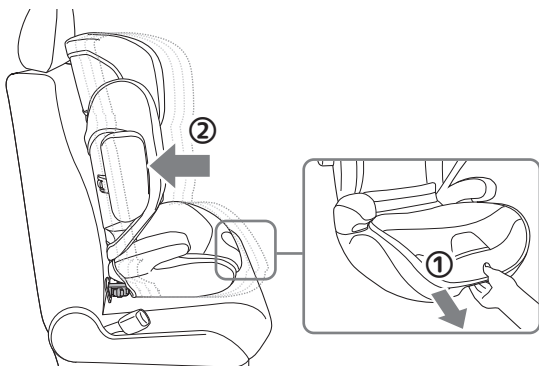
06

左右の ISOFIX コネクターのインジケーターが緑色になっていることを確認してください。左右両方の 2 カ所を確認してください。いずれか一方でも緑色になっていない場合は操作をやりなおしてください。



07

①アジャストレバーを手前に引いて、②本製品をシート背もたれ側にしっかりと押し込みます。できるだけ押し込むようにしてください。



08

念のため、左右の ISOFIX コネクターを手前側に引いて、しっかりと固定されていることを確認してください。

ポイント!

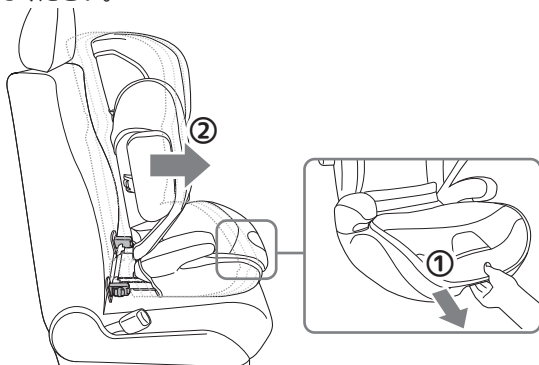
お子さまを乗せてご使用になる前に、シート背もたれと本製品のリクライニングの調節を行ってください。

参照 P40 ▶シート背もたれのリクライニング調節

取り外しかた

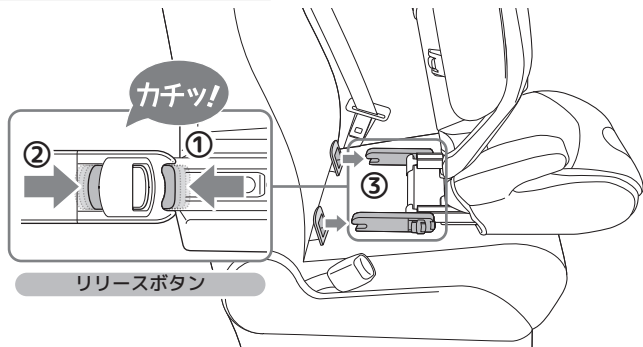
01

①アジャストレバーを手前に引いて、②本製品を手前に引き出します。最後まで引き出してください。



02

ISOFIX コネクターはダブルロック構造になっています。①のリリースボタンを押しながら、②のリリースボタン（緑色のインジケーター）をすと、「カチッ」と音がして、ISOFIX コネクターのロックが解除されます。**左右の ISOFIX コネクターを同時に操作してください。**③ ISOFIX 固定装置からベースを抜きます。



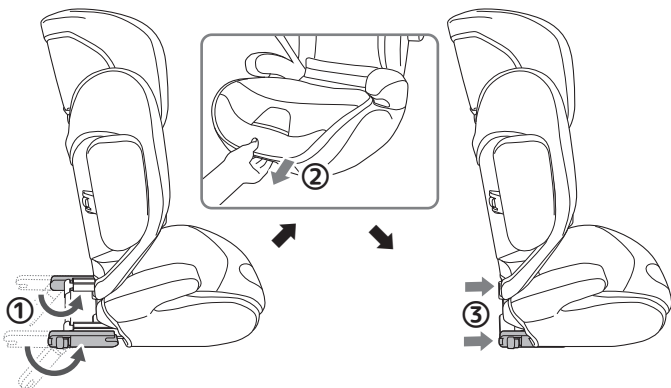
注意

左右同時に操作すること

ISOFIX コネクターは、左右同時に操作して取り外します。

03

① ISOFIX コネクターを下方方向に 180 度回転させ、②アジャストレバーを引きながら③そのまま ISOFIX コネクターをベース内に押し込んで収納します。



ポイント!

ISOFIX コネクターは、回転した状態で固定はされません。

ISOFIX コネクターは、上方向には 180 度回転しません。

注意

ISOFIX コネクターはベースに収納しておくこと。

破損やケガを防ぐため、本製品を自動車のシートから取り外した場合、ISOFIX コネクターはベースに収納してください。

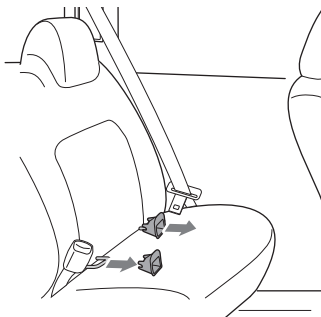
04

ISOFIX ガイドを取り外します。ISOFIX ガイドはなくさないよう、大切に保管してください。

注意

ISOFIX ガイドを取り外しておくこと

ISOFIX ガイドが紛失、破損したり、乗員がケガをするおそれがあります。ISOFIX ガイドは、必ず取り外した上、お子さまの手の届かない場所で、なくさないよう大切に保管してください。

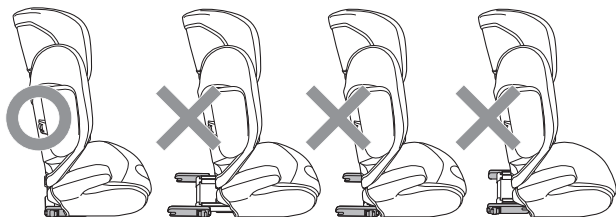


3 点式シートベルトのみを利用する

01

ISOFIX コネクターは、ベース内に完全に収納しておきます。

参照 P38 ▶取り外しかた▶ 03



⚠ 警告

ISOFIX コネクターをベース内に正しく収納しておくこと

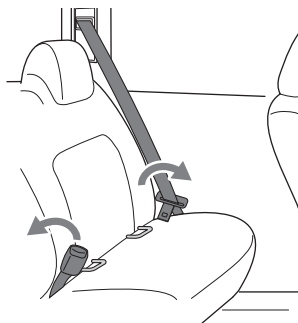
3 点式シートベルトのみを使用する場合は、ISOFIX コネクターはベース内に正しく収納しておいてください。正しく収納されていないと事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できず思わぬ事故につながるおそれがあります。

02

本製品を取り付けるシートのシートベルトは、留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートタングやシートバックル、その他のものの上に本製品を乗せないようにしてください。

👉 ポイント!

3 点式シートベルトのみで使用する場合、ISOFIX ガイドは使用しません。

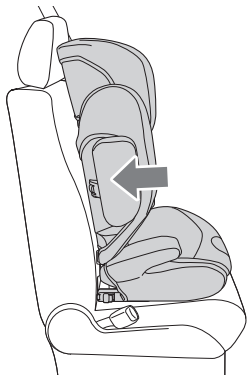


03

本製品を、使用する座席の左右の中央に置き、バックレストがシート背もたれに接するようにします。本製品の座席への設置はこれで完了です。3点式シートベルトのみを使用する場合は、お子さまを乗せて3点式シートベルトを装着することにより、本製品を固定します。

04

取り外しに関する本製品の操作はありません。お子さまを乗せない場合は、本製品は固定されていませんので、自動車から出しておいてください。



シート背もたれのリクライニングの調節

自動車の座席がリクライニング調節が可能な場合は、本製品にあわせて調節します。ここで行う操作は、ISOFIX コネクターを利用した場合も、3点式シートベルトのみを使用する場合も共通です。

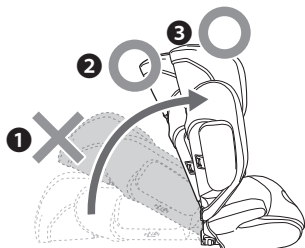
⚠警告

シート背もたれは確実に固定しておくこと

リクライニング操作を行った場合は、調整後にシート背もたれが確実に固定されていることを確認してください。シート背もたれの操作方法については、自動車の取扱説明書をご確認ください。

バックレストが②または③の角度で固定されていること

本製品は構造上バックレストの角度が3段階でベースと固定されます。①の角度では使用できませんのでご注意ください。

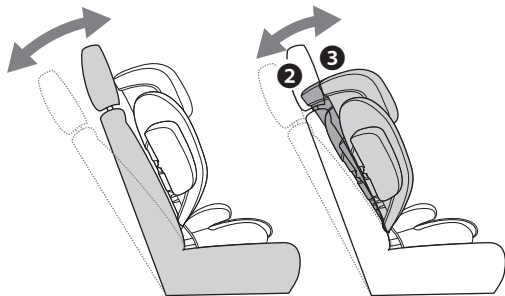


参照 P27 ▶ 本体の組み立て ▶ 07

01

リクライニングを調節できる座席の場合は、シート背もたれをバックレストの角度（②か③）に近い状態に調節、固定してください。リクライニングの調節のしかたは自動車の取扱説明書をご確認ください。

リクライニングを調節できない座席の場合には、②か③の角度のいずれかシート背もたれの角度に近い角度にバックレストを固定して使用してください。

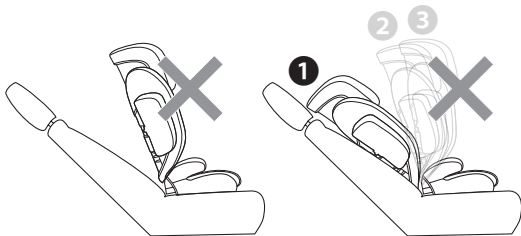


⚠危険

リクライニングを倒して使用しないこと

シート背もたれのリクライニングを倒した状態で使用すると、事故や衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあります。

本製品のバックレストが①の位置で固定された状態や②③で固定されていない状態では使用できません。①の角度にシート背もたれのリクライニングを調節しても本製品は所定の安全性能を発揮することはできませんので、絶対におやめください。



お子さまの乗せかた

お子さまを本製品に乗せて、シートベルトを装着します。ここで行う操作は、ISOFIX コネクターを利用した場合も、3 点式シートベルトのみを使用する場合も共通です。

⚠危険

シートバックルが本製品の使用に適さない場合は使用しないこと

シートバックルが長すぎたり、シートバックルの位置が前方すぎる場合、本製品が安定せず、安全に機能しないおそれがあります。そのような座席では使用しないでください。

👉ポイント!

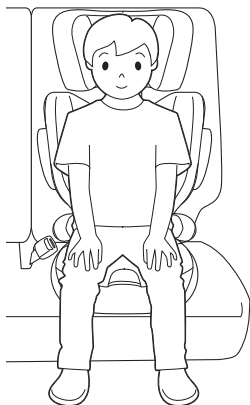
以下は、右ハンドル車の助手席後ろの後部座席（向かって右側に自動車肩ベルトの取り出し口、左側に自動車ベルトバックルがある）の状態での説明です。他の座席でも基本的な操作方法は同じですが、左右が逆になる場合があります。

01

3 点式シートベルトのみを使用する場合は、本製品が座席の左右の真中に位置していて、かつバックレストがシート背もたれに接していることを確認してください。

02

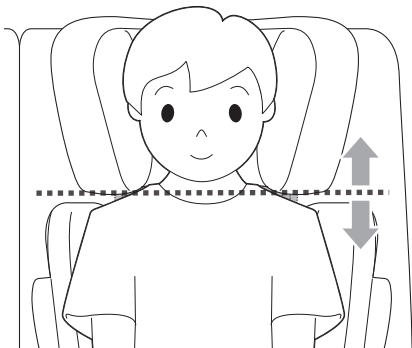
お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にして本製品に座らせます。腰を深くして、本製品の中央に座らせてください。



03

ヘッドレストの高さを調節して、ヘッドレストの下端がお子さまの肩の高さと同じ高さになるようにします。

参照 P30 ▶ヘッドレストの調節



ポイント!

シートベルトを装着してから、もう一度肩ベルトガイドの高さを確認します。

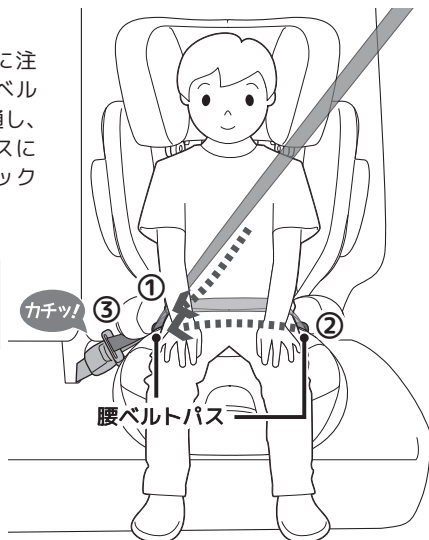
参照 P46 ▶お子さまの乗せかた▶ 07~08

04

シートベルトをねじらないように注意して、①シートバックル側のベルトパスに肩ベルトと腰ベルトを通し、②自動車のドア側の腰ベルトパスに腰ベルトを通して、③自動車バックルを留めます。右図をあわせてご確認ください。

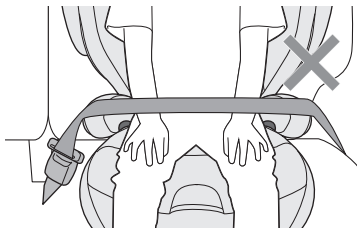
ポイント!

ベルトパスは、アームレスト下側の緑色の生地の部分です。



シートベルトは腰ベルトパスを通すこと

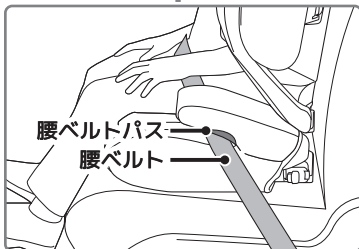
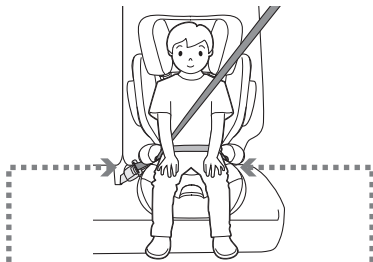
腰ベルトパスは、アームレストの下側です。アームレストの上を通さないでください。



05

以下のチェックリストを確認し、各部が正しい状態になっていることを確認してください。

Check!



- シートベルトにねじれがないこと。
- 肩ベルト、腰ベルトの両方が腰ベルトパスを通っていること。
- シートバックルにシートタングが確実に留まっていること。
- シートベルトにねじれがないこと。
- 腰ベルトが腰ベルトパスを通っていること。

06

肩ベルトを、自動車のドア側の肩ベルトガイドに通します。

①肩ベルトガイドの肩ベルト抜け防止ロックを倒し（自動的に元に戻ります）肩ベルトを差し入れて、②ガイドに沿って通してください。肩ベルトをねじらないように注意してください。

③肩ベルト抜け防止ロックが戻り、肩ベルトが下図のような状態になっていることを確認してください。

ポイント！

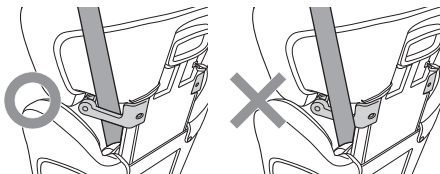
わかりやすくするため、図はヘッドレストを上げて、お子さまが乗っていない状態で背面からの状態を表記しています。



⚠危険

肩ベルトを正しく肩ベルトガイドに通すこと

事故や衝撃を受けた際に、本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。肩ベルトを、肩ベルトガイドの下側を通したり、肩ベルトガイド以外の場所を通したりしないでください。

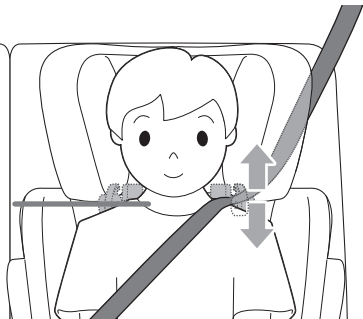


07

肩ベルトの高さが適切になっているか確認します。ヘッドレストの下端がお子さまの肩と水平になる位置に調節してください。

高すぎたり、低すぎたりする場合は、ヘッドレストの高さを調節して適切な高さに調節します。

参照 P30 ▶ヘッドレストの調節



⚠危険

肩ベルトガイドの高さを適切に調節すること

肩ベルトガイドは、お子さまの肩と同じ適正な高さに調節します。肩ベルトガイドが高すぎたり、低すぎたりすると、お子さまが本製品から飛び出したりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



08

肩ベルトが、左右で正しい位置を通るようにしてください。正しい位置より外側、内側を通っている場合、お子さまの座る位置や本製品を左右に動かして正しい位置にします。肩ベルトは、正しい高さで、正しい位置を通るようにしてください。



⚠ 危険

肩ベルトは、必ず正しい位置を通すこと

肩ベルトが、正しい位置よりもお子さまの首側（内側）にあると事故や衝撃を受けた際に肩ベルトがお子さまの首を圧迫し大変危険です。正しい位置よりも外側の場合、事故や衝撃を受けた際にお子さまが肩ベルトからすり抜けて飛び出るおそれがあります。

肩ベルトがお子さまの顔、頭部、首に掛かっている場合はそのまま使用せず、ヘッドレストの高さの調節や、本製品の位置を左右に微調整するなどして肩ベルトが正しい高さ、正しい位置になるようにして使用してください。

09

①腰ベルトの位置を調節して、お子さまの骨盤の上に腰ベルトが通るようにします。②肩ベルトを引いてシートベルトにたるみがないようにします。



⚠ 警告

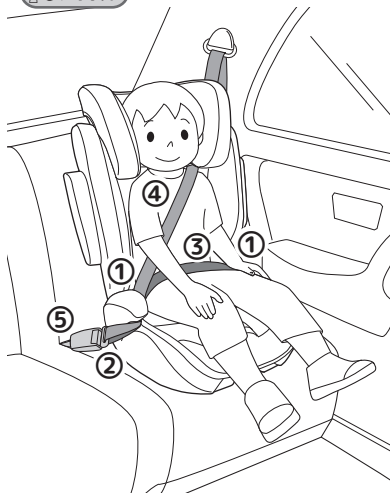
腰ベルトは骨盤の上を通すこと

事故や急制動などの際に衝撃を骨盤で受けられるよう、腰ベルトをお子さまの骨盤の上を通すようにしてください。骨盤の上を通っていないと、内臓の損傷、骨折にいたる危険性が高まります。

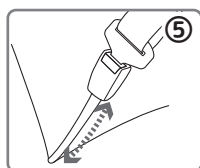
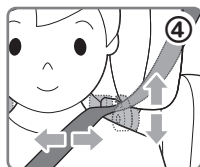
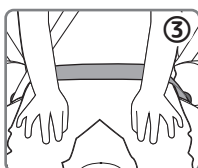
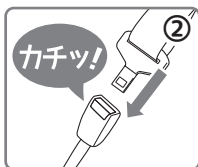
最後に、もう一度次のチェックリストを確認してください。

適切でない部分があれば、本書の指示に従い適切な状態に修正してから使用してください。

Check!



- ① 中央席側のベルトガイドに、肩ベルトと腰ベルトが通っていること。
ドア側のベルトガイドに、腰ベルトが通っていること。
- ② シートバックルにシートタングが確実に留まっていること。
- ③ 腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること。
腰ベルトにねじれ、たるみがないこと。
- ④ 肩ベルトの高さが適切になっていること。
肩ベルトの位置（左右）が適切な状態に調節されていること。
肩ベルトにねじれ、たるみがないこと。
- ⑤ シートバックルのベルトが長すぎる（または位置が高すぎる）場合、腰ベルトガイドにシートバックルが干渉するため、その座席では使用しないでください。



11

お子さまにシートバックルに手を触れないよう言い聞かせてご使用ください。お子さまが自動車バックルに手を触れ、バックルを外してしまうおそれがあります。

⚠ 警告

シートベルトは常に正しい状態で使用すること

お子さまがシートバックルに手を触れてバックルを外してしまったり、シートベルトから抜け出そうとしたりするおそれがあります。常日頃から、シートバックルには手を触れないよう、シートベルトを正しく装着しておくよう言い聞かせるようにして、本製品の使用中は適宜安全の確認をするようにしてください。

👉 ポイント!

お子さまが自分で乗り降りできるようになってからも、大人の監視のもとで乗り降りさせるようにしてください。

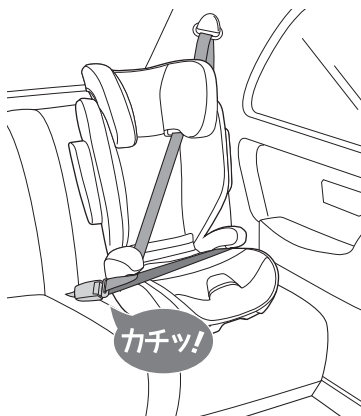
お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろしするたびに、肩ベルト（ヘッドレスト）の高さが適切かどうか確認するようにして、必要に応じて調節するようにしてください。

12

お子さまを降ろす場合、シートベルトのバックルを外してお子さまを降ろしてください。

お子さまを降ろした状態で自動車を使用する際に、ISOFIX 固定装置を使用していない場合は、本製品を車外に出してトランクに収納するなどしておくか、またはシートベルトで本製品を固定しておいてください。

ISOFIX 固定装置を使用している場合でも、念のため、右図のようにシートベルトで固定しておく、より安心してご使用いただけます。



⚠警告

お子さまが乗っていない場合は注意してください

固定されていない本製品を車内に置くと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

本製品を適当な方法で自動車内に固定するか、トランクに移動させるか、車外に出すなどしてください。

お手入れのしかた

本製品では、お手入れのためベース、バックレスト、ヘッドレストのカバーを取り外すことができます。お手入れ後は、取り外したカバーを必ず元に戻してください。

⚠警告

カバーを取り外した状態で使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、カバーを取り外して使用しないでください。また、本製品に取り付けられている発砲ウレタン等の衝撃吸収材（EPP / EPS フォーム 白い衝撃緩衝材）は安全に関わる重要な部品ですので、絶対に取り外さないでください。

同様に、ベース、ヘッドレスト、バックレストに貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。

カバーを外した状態の本製品、および取り外したカバーはお子さまの手の届かない場所に置いておくこと

お子さまが本製品の機構部に手や指を差し入れてケガをするおそれがあります。

お手入れ等のため、カバーを外したら、取り付け直すまでの間は、お子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

またカバーはお子さまの手の届かない場所でお手入れしてください。

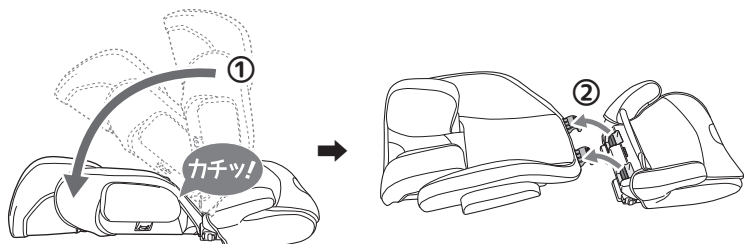
⚠注意

カバーの取り付け、取り外しは、慎重に作業してください

カバーが引っかかった感じがする場合、無理をせず、引っかかった場所がないかを確認するようにしてください。

本製品に取り付けてある、発砲ウレタン等の衝撃吸収材に傷をつけないように注意してください。

カバー類を取り外すため、あらかじめ、ベースとバックレストの固定を解除します。①バックレストを手で押して後ろ側に倒せば、②ベースとバックレストの固定は解除されます。



ポイント!
ヘッドレストのカバーのみを取り外す場合には、ベースとバックレストの固定を解除する必要はありません。また、サイドインパクトシールドを取り外しておくと、作業がしやすくなります。

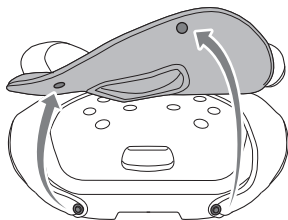
ベースのカバーの取り外し

ポイント!
ベースのカバーは、座面部と土台部に分かれています。必要に応じて汚れやすい座面部のみを取り外すことができますが、土台部のカバーを取り外すためには、座面部を取り外す必要があります。

座面部の取り外し

01

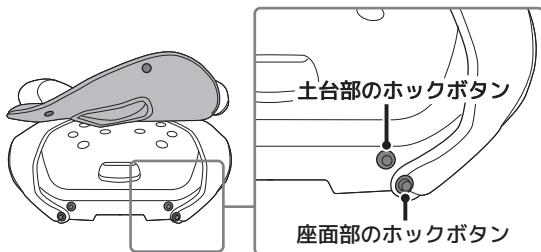
①座面部のカバーをベース前端で土台部のカバーに留めているホックボタン（2カ所）を外します。



ポイント!

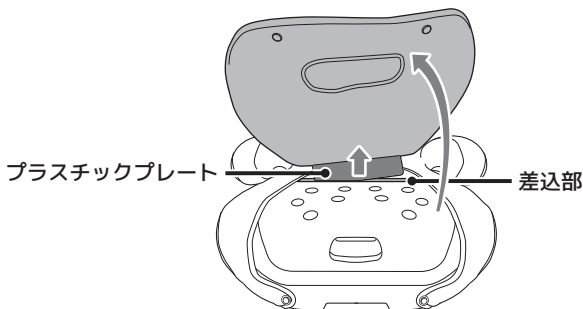
座面部のカバーは、ベースの前端で土台部のカバーに取り付けられたホックボタンに留められています。

土台部のカバーは、同じ位置の裏側で土台にホックボタンで固定されています。座面部のカバーのみを取り外す場合、土台部のカバーのホックボタンを取り外す必要はありません。土台部のカバーを取り外す場合に外してください。座面部のカバーを取り外した際に外れてしまった場合は、留めなおしておいてください。



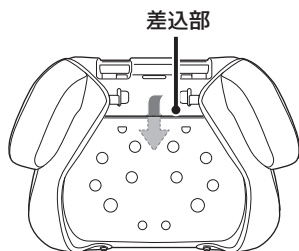
02

座面部をめくり差込部からプラスチックプレート抜いて、座面部のカバーを取り外します。



プラスチックプレートを必ず差し込むこと

座面部のカバーをベースに取り付ける際に、ベースの差込部にプラスチックプレートを必ず差し込んでください。プラスチックプレートが差し込まれていないと、座面部のカバーが前方に滑り、事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。



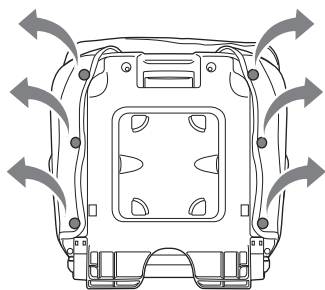
土台部の取り外し

ポイント!

土台部のカバーは、左右に分かれています。必要に応じて片方だけ取り外すことも可能です。

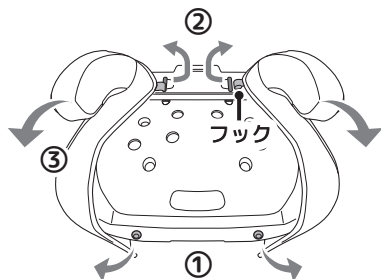
01

ベース背面でカバーを留めているホックボタン（6カ所）を外します。



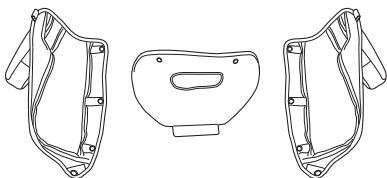
02

①ベース前端左右のホックボタンを外し、②ベースの後ろ側（バックレスト側）2カ所に留められているカバーのフックを取り外して、③アームレストからカバーを前方に抜いて土台部のカバーを取り外します。カバーは左右別々に取り外します。



ポイント!

ベースのカバーは、座面部と土台部（左右）の3点で構成されています。

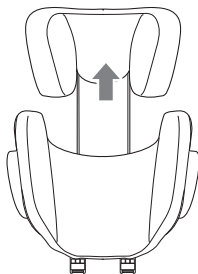


ヘッドレストのカバーの取り外し

01

ヘッドレストを最も高い位置に調節します。

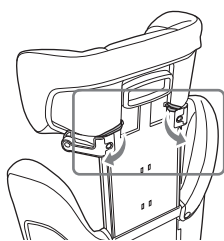
参照 P30 ▶ヘッドレストの調節



02

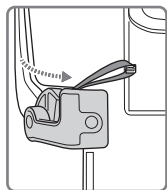
ヘッドレスト横のフックに留めてあるゴムバンドを取り外します。

左右とも取り外してください。



ポイント!

取り付けの際、ヘッドレストのカバーのゴムバンドは、右図のように、肩ベルトガイド上部の隙間に通して、フックに掛けるようにしてください。



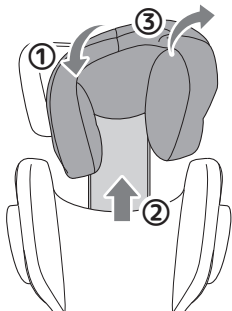
03

ヘッドレストのカバーを①上側から外して、②バックレストからフラップを抜き、③ヘッドレストからカバーを抜き取ります。

⚠注意

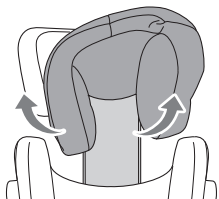
衝撃吸収材に注意すること

ヘッドレストのカバーを取り外す際に、ヘッドレストに取り付けられている衝撃吸収材（発砲ウレタンフォーム）をキズつけないようご注意ください。衝撃吸収材は、取り外しできません。



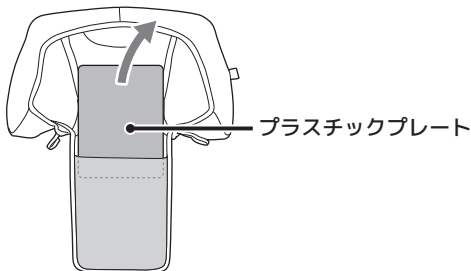
👉ポイント!

ヘッドレストのカバーを取り付ける場合は、先にヘッドレストの下側に被せてください。上側からは取り付けにくくなっています。



04

カバー裏側の下部（フラップ）の袋状になった部分から、プラスチックの板（プラスチックプレート）を引き出して取り外します。



⚠注意

お手入れの際はプラスチックプレートを取り外してください

プラスチックプレートが変形するおそれがありますので、差し込んだまま洗濯しないでください。

 ポイント!

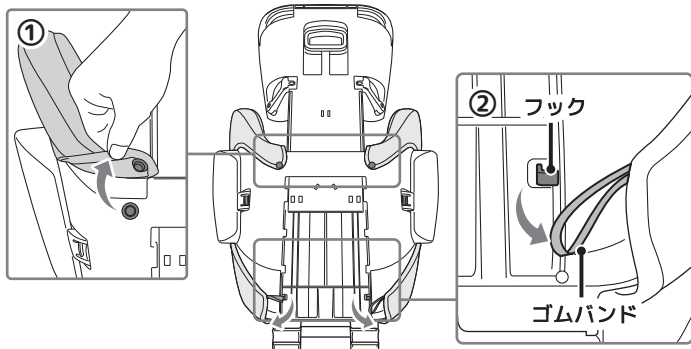
ヘッドレストのカバーを取り付ける際は、プラスチックプレートをあらかじめ差し込んでおいてください。

ヘッドレストのカバーを洗濯した際には、カバーを良く乾かしてからプラスチックプレートを差し込んで、カバーをヘッドレストに取り付けてください。

バックレストのカバーの取り外し

01

①バックレスト上部左右のホックボタンを外して、②バックレスト下部左右のフックに留めてあるゴムバンドを取り外します。



02

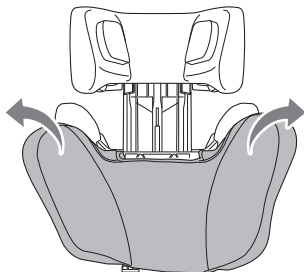
バックレストのカバーを取り外します。

 注意

衝撃吸収材を傷つけないこと

バックレストのカバーを取り外す際に、バックレストに取り付けられている衝撃吸収材（発砲ウレタンフォーム）を傷つけないようご注意ください。

衝撃吸収材は、取り外しできません。



カバーの取り付け

カバー類（ベース・ヘッドレスト・バックレスト）の取り付けは、それぞれ取り外しの逆の手順で行ってください。

⚠注意

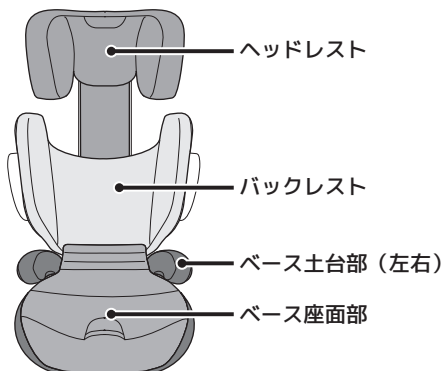
取り付けの際に、フラップにご注意ください

ヘッドレストのカバーを取り付ける際には、フラップがバックレストのカバーの内側になるようにご注意ください。

参照 P25 ▶本体の組み立て

カバーのお手入れ

取り外した、ベース、ヘッドレスト、バックレストのカバーは、以下の表示に従ってお手入れしてください。



⚠注意

指定外の方法で洗濯しないこと

指定外の方法でカバーを洗うと、破損や破れ、型崩れ、縮みの原因になります。

👉ポイント!

汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。

01

以下を参照してお手入れしてください。カバーは、よく乾かしてから取り付けしてください。

① 液温 30°を限度に、洗濯機で洗うことができます（手洗いをお勧めします）

洗濯機の容量や機種によっては、脱水機能使用時に、重量の偏りにより洗濯機が故障するおそれがあります。脱水時に偏りが発生した場合などは、30°以下の水温で手洗いしてください。

また、ヘッドレストのフラップ部が変形するおそれがありますので、フラップ部に力が掛からないようご注意ください。

② 漂白剤は使用しないでください

劣化を早め、変退色、破損の原因となりますので、塩素系、酸素系の漂白剤は使用しないでください。

③ タンブラー乾燥をしないでください

破損、損傷、縮みの原因となりますので、タンブラー乾燥（乾燥機）は使用しないでください。

④ つり干しを推奨します

型崩れしないよう注意して、しっかりと開いて干してください。

⑤ アイロンは使用しないでください

破損、縮み、溶けの原因となります。

⑥ ドライクリーニングしないでください

変色、破損、縮みの原因となります。商業クリーニング、ドライクリーニングは避けてください。

⚠ 注意

原液の中性洗剤、有機溶剤を使用しないでください

未希釈の中性洗剤、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。変質、溶解、破損、損傷のおそれがあります。

きつく絞らないでください

型崩れ、変形の原因となります。

⚠注意

原液の中性洗剤、有機溶剤を使用しないでください

未希釈の中性洗剤、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。変質、溶解、破損、損傷のおそれがあります。

きつく絞らないでください

型崩れ、変形の原因となります。

ベース・バックレスト・ヘッドレストのお手入れ

⚠危険

潤滑剤を絶対に使用しないこと

お手入れ、メインテナンス時にシリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤を絶対に使用しないでください。

潤滑剤が付着すると本製品が変質、破損したり、安全に機能しなくなったりするおそれがあります。

樹脂部分・衝撃吸収材

01

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。衝撃吸収材は特にやさしくお手入れしてください。

洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

⚠注意

洗剤類、ウェットタオルは使用しないでください

洗剤類、市販のウェットタオル（ウェットティッシュ）、赤ちゃんのお尻ふき、などは使用しないでください。含まれる成分によって、樹脂や衝撃吸収材に影響を与えるおそれがあります。劣化、変質、溶解の原因になる可能性があります。

金属部分

01

金属部分は、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。

食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合には、薄めた中性洗剤を溶かした水につけ、良く絞った柔らかいタオルで汚れをふき取るようにしてお手入れしてください。中性洗剤を使用した場合、お手入れ後は洗剤をよくふき取ってください。



危険

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

ISOFIX コネクター

ISOFIX コネクター、自動車の ISOFIX 固定装置は常に清潔を保つようにしてください。

01

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。



危険

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

潤滑剤を絶対に使用しないこと

お手入れ、メンテナンス時にシリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤や、その他潤滑性のある物質を含む洗剤等を絶対に使用しないでください。潤滑剤に限らず潤滑性のある洗剤等物質が付着すると ISOFIX による固定に影響を与え思わぬ事故につながるおそれがあります。

除菌・抗ウイルス製品の使用にあたっての注意

除菌、抗ウイルスのスプレー、ミスト、ジェル等の製品には、本製品の縫製品、樹脂、金属に影響を与える成分が含まれている可能性があります。本製品に対する使用にあたっては、あらかじめこれらの製品のメーカーにお問い合わせの上、影響の有無に付きご確認ください。

保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は、自動車から取り外しておいてください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のあたる場所、露天では保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示しシートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	ジョイ・チャイルドシート（ブースターシート） アイ・トレバー		
お買い上げ日			
お客様	ご住所 〒 -	お買い上げ 販売店名	店名 住所 電話番号
	お名前 電話番号 - -		

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から 1 年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げいただいた販売店名が不明の場合保証の対象となりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

- 保証期間中に正常な使用状態において、万一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただきます。
- 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。
 - ・本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です）および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
 - ・お客様のご購入を証明することができない場合
 - ・本取扱説明書および製品本体に表記されている指示内容に従わなかったために生じた、故障、破損、不良の場合

- ・ 正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類等縫製製品のほつれの場合
 - ・ 部品の紛失の場合
3. 次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。
 - ・ 事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、汚損の場合
 - ・ 誤使用、または改造、不当な分解によって発生した故障、破損、汚損の場合
 - ・ 本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
 - ・ 並行輸入品や海外で購入された製品の場合
 - ・ 業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
 - ・ 中古品の場合
 - ・ 本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
 - ・ 本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合
 4. 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートベルトの傷、取り付けあと等は保証いたしかねます。
 5. 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。
 6. 保証は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
※製品は万全を期して製造しておりますが、万が一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。
※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。
※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

(本製品に関するお問い合わせ先)

株式会社カトー ジ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時 (土日祝日を除く)

www.katoji.co.jp

(Joie日本総代理店)

株式会社カトー ジ 〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

シシート等を貼り付けてください

Allison GmbH
Adam-Opel-Straße 21 67227
Frankenthal



bring the kids™
Share the joy at joiebaby.com

210501